

ライフサポートセンタールーチェ 5領域の支援とプログラムの公表

私たちは利用してくださる全てのお子様が将来、日常生活や社会生活において出来る限り円滑に営む事ができるように以下の項目に基づいて、総合的な支援を提供します。また、支援プログラムの内容に関しては次の通りになります。

健康・生活

運動・感覚

認知・行動

言語・コミュニケーション

人間関係・社会性

健康・生活

・健康状態の把握

自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援します。常時健康状態を確認し、意思表示が苦手なお子様のサインに気付ける様に配慮しながら体調変化を見ていきます。

・健康の増進

食事・排泄の基本的な生活行動を身につける支援を行います。食を営む力の育成（感覚・咀嚼・嚥下・姿勢保持・完食の達成感等）、トイレトレーニング、身体の衛生保持や病気の予防や安全への配慮を行います。

・リハビリテーションの実施

それぞれのお子様にあった身体的、精神的、社会的訓練を行います。自身の身の周りの事を自力で行う意識が定着していけるように、成長段階に合わせて促しと評価を反復していきます。

・基本的生活スキルの獲得

身の周りを清潔にして、食事や衣類の着脱等生活に必要な基礎的技能を獲得できるように支援します。

・構造化等により生活環境を整える

生活の中で様々な経験や学び・遊びを通じて成長できるように環境を整えていきます。また、それぞれの障がいの特性に配慮し、視覚支援を用いて、時間や空間等お子様にわかりやすく構造化された環境を提供する事で、見通しを持ち、自発的に行動しながらメリハリをつけた過ごしができるように支援していきます。

運動・感覚

・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上

姿勢保持や上肢・下肢の運動や動作の改善及び習得、筋力の維持や強化を行い、就学前から椅子に着席したり、姿勢保持にて静かに待つ事等ができるように活動の提供を行います。

・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用

活動時、食事時に姿勢を保てるように促していきます。身体的要因等により、姿勢保持や動作が難しい場合は補助用具（座椅子等）を用いながら支援を行っていきます。

・身体の移動能力の向上

段差の昇降や、歩行による移動、体幹等バランスを取る事等必要な移動能力の向上の為の支援を遊びや運動の活動提供にて行います。

・保有する感覚の活用

保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう、活動や遊びを通して支援します。

・感覚の補助及び代行手段の活用

保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするように、環境面や補聴器等の補助器具（ご利用の方に限る）を活用できるように支援します。

・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）

感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する活動提供や環境調整等の支援（過敏→少しずつ慣れていけるように/鈍麻→少しずつ感じ取れるように）を行います。

認知・行動

・感覚や認知の活用

視覚・聴覚等感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能への発達を促し、注視や集中した取り組みができるように環境や対応面での配慮を行いながら、自発的な行動を育む支援を行います。

・知覚から行動への認知過程の発達

環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択して行動につなげる一連の認知過程の発達をスケジュールや絵・写真カード等のツールを用いて促していきます。

・認知や行動の手がかりとなる概念の形成

物や空間・時間等の概念を各部屋の構造化や視覚カードやスケジュール等により、見通しを持てるように形成を図る事で、認知や行動の手がかりとして環境やツールを活用できるように支援していきます。

・数量・大小・色等の習得

数量、形の大きさ、重さ、色違い等の習得の為の支援を自立課題にて専用教材や学習プリントを用いながら行っていきます。

・認知の偏りへの対応

個々の特性に配慮し、自身のこだわりや思いに阻害される事なく、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。敢えてパターンを崩したり、こだわりや偏食が少しずつ改善できるように、工夫しながら支援します。

・行動障がいへの予防及び対応

感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生ずる行動障がい（痙攣、自傷、他害等）の昇華と適切行動への対応の支援をスヌーズレンや活動提供、切り替えの促しにて行い、自分一人で気持ちをコントロールしていく練習を反復して積んでいきます。

言語・コミュニケーション

・言語の形成と活用

体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援（挨拶や要求、活動内における物や体験と言葉の意味を結びつける等）を行います。

・受容言語と表出言語の支援

言葉や文字等を使って相手の意図を理解したり（受容）、自分の考えを伝える（表出）支援を行います。

・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得

それぞれに配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上の為の支援を行います。

・指差し・身振り・サイン等の活用

指差し、身振り、サイン、絵カード等を用いて環境の理解と意思伝達ができるよう支援します。

・読み書き能力向上のための支援

発達障がい等障がいの特性に応じた読み書き能力の向上の為の支援を行います。

・様々なコミュニケーションの手段やツールの活用

マカトンサインやジェスチャー、音声、文字等の多様なコミュニケーション手段以外にも絵・写真カードや筆談ボード等コミュニケーションツールを選択・活用し、環境の理解と様々な意思伝達ができるよう支援します。

人間関係・社会性

・アタッチメント（愛着行動）の形成

活動や遊び等を通して、人間関係の意識と身近な人と親密な関係を基盤とした、周囲の人と安定した関係を形成する為の支援を行います。

・模倣行動の支援

活動や遊び等を通じて適切に人の動きを模倣する事で社会性や対人関係の芽生えを支援します。

・感覚運動遊びから抽象遊びへの支援

感覚や運動機能の遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びを通して徐々に社会性の発達が促されるように支援します。

・一人遊びから共同遊びへの支援

一人遊び・連合遊び・ルールを守って遊ぶ等の共同遊びや協力しての丁寧な準備や片付け方等を通して徐々に社会性の発達が促されるように支援します。

・自己の理解とコントロールの為の支援

できる事できない事など自分の行動の特徴を理解し、気持ちの衝動性が強かったり、感情的になってしまった際のクールダウンの方法を一緒に模索しながら、気持ちや情動の調整ができるように支援します。

・集団への参加への支援

集団に参加するための手順やルールを理解し、小集団の中から遊びや集団活動に参加できるよう支援します。